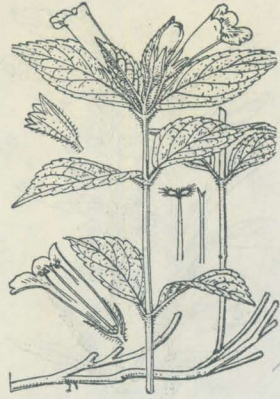


第 3359 図

あしたかじゃこうそら

Chelonopsis Yagiharana
Hisauchi et Matsuno

静岡、山梨両県の山地に産する多年生草本である。ジャコウソウに比べて全体小さく、茎・葉柄・葉から萼にまで立った毛が生えている。茎は高さ15-40cm。葉は対生し、長味のある倒卵形で先は尾状に尖り、基は細まって少し耳状になり、短い葉柄があり、長さ4-10cm巾2-4cm。夏、茎頂近くの葉腋から1cm内外の柄を出し1-2花を着ける。萼は鐘形で長さ1cm余、先は5裂する。花冠は大きく濃紫紅色で長さ3-4cm、先端は唇状に分れ、下唇の中央裂片は他より大きく、前方へつきだし長径共1cm余、縁は細かく波状をしている。中に4雄蕊、1雌蕊がある。和名は本種が初め静岡県愛鷹山で発見されたのによる。



第 3360 図

つるにがくさ

Teucrium viscidum Bl.
var. *Miquelianum* Hara

山地に生ずる多年生草本で、根茎は細長く地中をはっている。茎は高さ20-80cm、4角でわずかに毛がある。葉は対生し長い柄があり、長卵形乃至長楕円形で先は尖り、基は急に細まり、縁にはあらい鈍鋸歯があり、長さ3-10cm巾1.5-5cm、質うすく、脈は上面で凹み細毛を散生する。夏、上部の葉腋から長さ2-8cmの総状花序をだし、小形の唇形花を開く。花序には萼まで細い腺毛が多く、萼は鐘状で先は浅く5裂する。花冠は長さ3-7mm、白っぽく下唇は長く前へ突き出して紅紫色をおびる。果時萼はまるくふくらみ、内に卵形褐色のほとんど平滑な分果をいれる。萼に細かい腺毛が密生している点で他の近似の種から区別できる。和名は蔓苦草の意味。

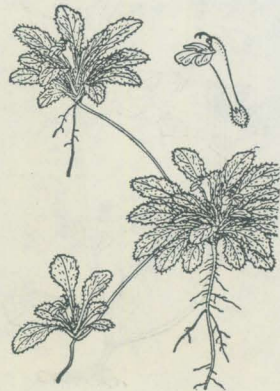


第 3361 図

ひめきらんそう

Ajuga pygmaea A. Gray

九州・琉球・台湾の海浜に生ずる多年生の小草本である。地表に細長い匍枝をのばし、殆ど毛がなく、節から根を下して新しい株になる。葉は簇生し、長楕円状倒披針形で先は円く、基は漸次細まって長い葉柄となり、縁に疎な波状の鋸歯があり、長さ1-4cm巾3-10mm、長い軟毛が散生している。春、葉腋に短い花梗をだし藍紫色の唇形花を開く。萼は鐘状で先が尖った卵形の5裂片があり、長い軟毛が散生している。花冠は長さ1cm許、筒部は細長く、上唇はごく短く2裂し、下唇を深く3裂する。和名は姫キランソウの意味である。



あまくさぎ

Clerodendron trichotomum
Thunb. var. yakusimense Ohwi
(= *C. yakusimense Nakai*)

暖地の海岸近くに産する落葉灌木である。若枝は僅かに微細な毛があり、葉は長い柄があって対生し、長卵形で先は長く尖り、全辺又は低い鋸歯があり、長さ6-15cm巾3-8cm、殆ど無毛で上面は少し光沢がある。夏、枝先に大きい聚繖花序をつけて、多くの白花を開く。花梗は細長く無毛、萼は漏斗状で長さ約1.5cm、5裂し裂片は長三角形で尖る。花冠の筒部は細長く萼から抽出し、裂片は5個、長楕円形で平開し、径2cm内外。4雄蕊と花柱は長く花冠外に突き出す。クサギより遙に毛が少なく、葉はやや厚く光沢がある。



第 3363 図

げんぺいくさぎ

Clerodendron Thomsonae
Balfour

西アフリカ原産の蔓性常緑灌木で、観賞用として温室で栽培される。蔓は長くのびるが普通は鉢植として丈低くつくる。葉は対生し長卵形で先は尖り全辺、主脈は上面では著しく凹んでいる。初夏、枝先に円錐状の聚繖花序をなして美しい花を開く。萼は白色、鐘状で著しい五角形をなし、5深裂し、裂片は先でやや閉じている。花冠は濃紅色で筒部は長さ2cm余、裂片は5筒あり平開する。4雄蕊は更に長く花外につき出している。和名はクサギと同属で、花は花冠の紅色と萼の白色が著しい対照をなすので源平クサギと名付けられた。



第 3364 図

おおむらさきしきぶ

Callicarpa japonica Thunb.
var. *luxurians* Rehder

主にやや暖地の海岸近くに生ずる落葉灌木で、ムラサキシキブより各部大きく、毛は少く、葉は厚くてやや光沢がある。枝は太く、若い時には灰色の細かい星毛を密布する。葉は対生し柄があり、楕円形で両端に向って長く尖り、縁に鋸歯があり、大形で長さ10-25cm巾3-10cm、初め小星毛があるが直ちに落ちて平滑になり、多くの細腺点がある。夏、葉腋に大きい聚繖花序を出し多数の小さい淡紅紫花を開く。花序はほぼ無毛、萼は盃形、花冠は4裂し径約4mm、4雄蕊1雌蕊がある。果は球形で径3mm内外、紫色に熟すが、時に白熟するものがありオオシロシキブという。



くちびるばな科

くちびるばな科

くちびるばな科

くちびるばな科

くちびるばな科

くちびるばな科